

Project	地域協働専攻 地域政策グループ
	『財政プログラム』協働推進プロジェクト with 財務事務所

メンバー	[学生] 大久保 葵衣 / 友兼沙綺 / 川島悠矢 / 高平琉伊 / 畑晴喜 [担当教員] 奥平理 平井健文
------	---

【背景】

函館財務事務所からこれまで取り組んできた「財政教育プログラム」をより効果的でよりよい授業とするために教材や授業の進め方等を検討するために相談したいという依頼があった。

【目的】

若年層に日本の財政について興味を持ってもらい、日本の将来の財政を自分事として考えてもらう。

【概要】

『財政教育プログラム』の問題を洗い出し、函館財務事務所の協力のもと検討を重ね、具体的な授業の内容を構想。地域における活動として函館財務事務所による入念な指導を受け、最終的に12月の附属函館中学校での「財政教育プログラム」を実施。

【プロセスと成果】

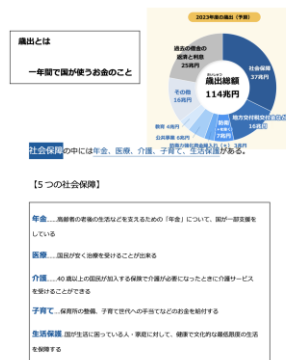
授業の流れを以下のように設定した。

【①座学 ②予算編成シミュレーション ③発表 ④政策案発表 ⑤ディスカッション】

①の座学資料では授業の間に生徒のクイズを挿入することで、生徒により関心をもらえるように心掛けたが、附属中学校 3 年生には簡単過ぎたため、よりレベルに合った問題設定が求められる。また、座学では今年度から財政に関する基礎知識をまとめたワークシートを導入した。

②の予算編成シミュレーションでは、予算編成シミュレーターを使用し、生徒自身に財政について考えてもらう活動を取り入れた。今年から始めたこの活動は、生徒自身が予算編成シミュレーターを使い、財政により興味を持ってもらうことが目的であった。生徒からのアンケートでは、グループワークを通じた意見交換が一番勉強になったと意見が多かった。②予算編成シミュレーションを取り入れたことで目的を達成できたといえる。

④の政策案発表では、大きな政府党、小さな政府党のように、中学生が議論しあえるような隙のある政策にすることを心掛けた。選挙の結果、クラスの票が半分に割れることを目標に作成した。投票の結果、B 組では小さな政府党が僅差で勝ち、C 組では大きな政府党が僅差で勝った。目標は達成できた。



【総括と反省・今後の課題】

前期は前年度の授業を分析し改善点を抽出した。それを基に今年度の授業の流れを決定し、授業資料の作成を始めた。その中でも、財政に関する知識をまとめたワークシートの作成や予算編成シミュレーションというツールの使用など新たな取り組みをすることを決め、準備を進めた。また、中間発表会に向けて、前期の総括と反省、課題の洗い出し作業を行った。

後期は前期の反省と今後やるべきことの整理を行い、授業資料の細かい調整や読み原稿の作成、授業のリハーサルを行った。

附属函館中学校での実際の授業ではグループワークが活発に行われており、生徒からの感想として「日本の財政についてグループワークなどを通じて理解を深めることができ、とても貴重な経験になった」という感想をいただいております。授業目的である日本の財政について興味を持ってもらい、日本の将来の財政を自分事として考えてもらうことができているように感じた。

今後の課題として、活発な議論に導いていくための学生の準備と、より実際の授業を意識したリハーサルを行うことが必要であると考えている。

【地域からの評価】

『財政教育プログラム』を通して生徒の皆さんから、

- ・日本の政治にはまだまだ課題があるし、私達国民も深く関わっていく必要があると改めて思った。
- ・今の自分にもできることを探したいという思いと、将来は日本の財政に関わる仕事に携わりたいと感じることができた。
- ・実際の財政について具体的に考えてみるのがとても面白かった。自分の生きていく国なんだから、ちゃんと選挙に行ったほうが良いと思った。などの感想をいただいた。

また、成果発表会を通して地域の方々から、
・実際の財政の仕組みや問題点を理解しやすいよう工夫して若い世代に伝えていくことは素晴らしいことだと思う。
などの感想をいただいた。

【その他】

年間スケジュール

■前期

- 第1回 本プロジェクトの概要説明
- 第2回 グループワーク
- 第3-4回 前年度の分析、解析、問題点抽出
- 第5-7回 授業計画案作成
- 第8-12回 「財政プログラム」プレゼンテーション作成
- 第13-15回 プロジェクト成果・課題中間発表会準備、実施

■後期

- 第1回 前期の反省、後期に向けての整理
- 第2回 座学資料の作成
- 第3-4回 政党案作成
- 第5-6回 読み原稿作成
- 第7回 資料の最終確認
- 第8-10回 リハーサル
- 第11回 「財政プログラム」実践
- 第12回 振り返り
- 第13-15回 プロジェクト成果発表会準備、実施